## 国語科学習指導案

庄原市立美古登小学校 指導者 加藤 和美

- **1** 日 時 平成 30 年 6 月 25 日 (月) ~ 平成 30 年 6 月 29 日 (金)
- 2 学 年 第5学年(19名)
- 3 単元名 書き手の意図をとらえて、自分の考えをもとう

#### 4 単元設定の理由

#### 〇 単元観

本単元は、小学校学習指導要領(平成 20 年)第 5 学年及び第 6 学年「C 読むこと」の(1)のウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」を基に設定した。

書き手の意図を捉えるとは、「書き手の考えを、内容や形式から理解すること」である。 それを自分の既有の知識や様々な体験と結び付けて感想をもったり考えをまとめたりすることが自分の考えを明確にすることである。これは、中学校学習指導要領(平成29年告示)解説国語編中学校第3学年の指導事項に示された「批判的に読む」ことにつながるものである。情報過多の時代を生きていく児童にとって、書き手の意図を捉え、自分の考えをもつ力は、情報を取捨選択し活用していくためにも必要な力であると考えられる。

### 〇 児童観

事前アンケートの結果,以下のような児童実態が分かった。

(単位:人)

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない		
1	説明的な文章の学習は楽しいで	6	6	6	0		
1	すか。	(33.3%)	(33.3%)	(33.3%)	(0%)		
(†	肯定的な理由) 初めて知ることがあ	るのでおもしろいから。					
知らないことがたくさんのっていて勉強になるから。							
(否定的な理由) 文章を書くのが苦手だから。							
意味がよく分からなくなるから。							
2	説明的な文章の学習は日常生活	10	4	3	1		
	の中で必要ですか。	(55.6%)	(22.2%)	(16.7%)	(5.6%)		
(†	肯定的な理由) 説明書の内容がだい	たい分かったら役に立つと思うから。					
説明することは日常生活ではかかせないから。							
(否定的な理由) 日常で説明文を使うようなときはあまりないから。							
教科書みたいにそんなに難しく考えることはあまりないから。							
3	教科書の説明文を読むときに, 疑	7	9	0	2		
J	問をもちながら読んでいますか。	(38.9%)	(50.0%)	(0%)	(11.1%)		
1	説明文に込められた筆者の意図	3	12	3	0		
4	を考えることができますか。	(16.7%)	(66.7%)	(16.7%)	(0%)		
5	筆者の意図に対して自分の考え	6	7	5	0		
5	をもつことができますか。	(33.3%)	(38.9%)	(27.8%)	(0%)		

説明的な文章の学習について、約67%の児童が楽しいと答えている。その理由のほとんどが「初めて知ることがあるから」「いろいろくわしく書いてあるから」など内容に関するものである。反対に楽しくないと答えた児童の多くは、その理由を「書くのが大変だから」と答えている。「意味が分からない」「どうまとめていいいのかわからない」というものもあった。また、身の回りの説明的な文章に気付いていない児童も数名見られた。

これらのことから、児童は、説明的な文章の学習とは、書かれている内容の読み取りと内容や形式をまねて書く活動であると捉えていることが分かる。また、身の回りにある説明的な文章に気付

いておらず、国語での学びを実生活とつなげることができない児童がいることが分かる。

また,筆者の意図を捉えることやそれに対して自分の考えをもつことについても,肯定的に回答している児童が70%以上いる。しかし,プレテストの結果を見ると,筆者の意図を捉えることができている児童は約50%である。順序に関する適切性や関係性に対する整合性,全体構成に対する納得性については,多くの児童が答えることが難しいと答え,内容に触れながら正しく理解している児童は22%であった。

これらのことから,書き手の意図を捉え,内容や表現について批判的に読み,自分の考えをもつ ことの経験が十分ではないことが分かる。

### 〇 指導観

本単元の指導に当たっては、次の2点の工夫を行う。

一つ目は、身近な素材を教材化したり、自分で選ばせたりすることである。そうすることで、身の回りにある説明的な文章に気付くとともに、他の説明的な文章に対しても主体的に関わることができるようになると考える。また、身近な素材を活用することは、児童の学習意欲を高め、批判的な読み方を習得させることに有効であると考える。

二つ目は、系統的な指導を行うことである。批判的な読みの系統を①順序②関係性③全体構成と整理し、その系統に沿って段階的に指導する。その際、筆者の意図を捉え、その内容や表現について自分の考えをもたせるために、「必要性(○○はいるのか。)」「適切性(○○はふさわしいか。)」「整合性(○○と▲▲はずれてないか。)」「納得性(この説明で納得できるか。)」の4つの観点から文章を批判的に読ませ、自分の考えをもたせる。

#### 5 単元の目標

○身近な素材や教科書教材を読み、書き手の意図を捉え、自分の考えをもとうとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

○書き手の意図を捉え,文章の内容や表現を批判的な読みの観点を使って読み,自分の考えをもつことができる。

【読むこと(1)ウ】

○広告などの身近な素材や教科書教材を読み、文章の中の表現の工夫について気付くことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(ケ)】

## 6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語に関する知識・理解・技能						
【言語活動】 身近な素材や教科書教材を、批判的な読みの観点を活用して読み、書き手の意図を扱								
えて自分の考えをも	えて自分の考えをもつ。							
・身近な素材や教科書教材を読	・書き手の意図を捉え、文章の	・広告などの身近な素材や教科						
み、書き手の意図を捉え、自	内容や表現を批判的な読みの	書教材を読み、文章の中の表						
分の考えをもとうとしてい	観点を使って読み,自分の考	現の工夫について気付いてい						
る。	えをもっている。	る。						

# 7 指導と評価の計画(全5時間)

次	等と評価の計画(至 5 時间) 		評価				
(時)	学習内容	読書 活動	関	読	1111	評価規準	評価方法
_	<ul><li>○学習の見通しをもつ。</li><li>○教材文を読んで、書き手の意図を捉え、自分の考えをもつ。</li><li>(順序)</li></ul>		0	0		・学習の見通しをもっている。 ・書き手の意図を捉え,順 序の視点で批判的に読み 自分の考えをもっている。	発言 ワークシート
(2)	<ul><li>○教材文を読んで、書き手の意図を捉え、自分の考えをもつ。</li><li>(関係性)</li></ul>	新聞を読		0	0	・書き手の意図を捉え,関係性の視点で批判的に読み,自分の考えをもっている。 ・広告の表現の工夫に気付いている。	発言 ワークシート
	○教材文を読んで,書き手 の意図を捉え,自分の考 えをもつ。 (全体構成)	読んで記事を選ぶ。		0	0	・書き手の意図を捉え,全体構成の視点で批判的に読み,自分の考えをもっている。 ・新聞記事の表現の工夫に気付いている。	発言 ワークシート
(2)	○教科書教材を読んで,書き手の意図を捉え,自分の考えをもつ。		7	0	0	・書き手の意図を捉え、批判的に読み、自分の考えをもっている。 ・教科書教材の表現の工夫に気付いている。	発言 ワークシート
三(1)	○自分が選んだ身近な素材を読んで、書き手の意図を捉え、自分の考えをもつ。 ○学習の振り返りをする。			©	0	・書き手の意図を捉え、批判的に読み、自分の考えをもっている。 ・新聞記事の表現の工夫に気付いている。	発言 ワークシート

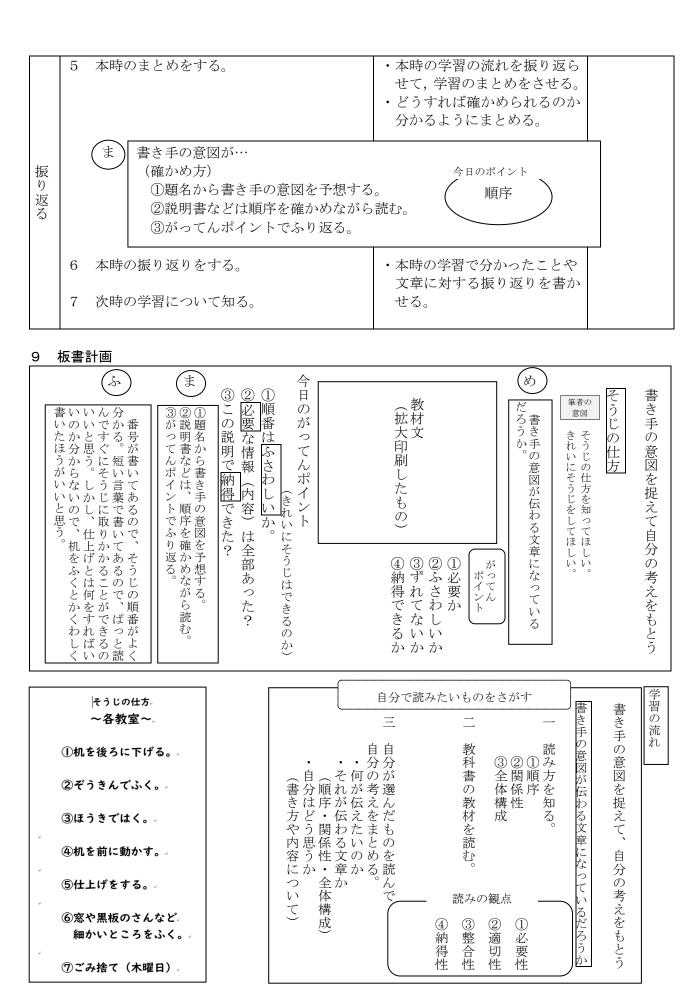
## 8 本時の展開(本時 1/5)

- (1) 本時の目標
  - 学習の見通しをもつことができる。
  - ・書き手の意図を捉え、順序の視点で批判的に読み、自分の考えをもつことができる。
- (2) 準備物

ワークシート・教材文

(3) 学習の展開

	3) 字省の展開	T	
	学習活動	指導上の留意点 (・) 個に応じた支援 (☆)	評価規準 (方法)
	1 学習の見通しをもつ。	同で心でた人扱(A)	()) (Д)
つかむ	<ul><li>2 本時のめあてを確認する。</li><li>○教材文の題から書き手の意図を推測する。</li><li>・そうじの仕方を知ってほしい。</li><li>・きれいにそうじをしてほしい。</li></ul>	・見出し等には、書き手の意図 が表れているという既習の内 容を想起させる。	
	(め) 書き手の意図が伝わる文章に	こなっているだろうか。 	J r
	3 教材文を読む。 ○書き手の意図から○○に必要な内容を考える。 ・そうじの順番が大事。 ・何をするかが必要。 ○教材文を読む。 ○書き手の工夫を見付ける。 ・順序が分かるように番号が書いてある。 ・何をすればいいか,短い言葉で書いてある。	確かな読みの力を育てる 指導の工夫 ・どのようなことに注目し ら読めばよいのか,見通 もたせる。	なが
考える・表す	<ul> <li>4 批判的に読む。</li> <li>○観点を知る。(がってんポイント)</li> <li>①必要性…○○はふさわしいか。</li> <li>③整合性…○○と▲▲はずれてないか。</li> <li>④納得性…この説明で納得できるか。</li> <li>○必要な観点を選ぶ。</li> <li>・この順序でいいかどうかを確かめる必要がある。(②適切性)</li> <li>・この内容でいいかどうかを確かめる必要がある。(③整合性)</li> <li>・全体を通して納得できるかどうかも確かめる必要がある。(④納得性)</li> <li>○批判的に読む。</li> <li>・自分で考えた後,グループで観点に沿って考える。</li> <li>・この順番でいいと思う。理由は…</li> <li>・この内容はよくないと思う。理由は…</li> </ul>	確かな読みの力を育てる 指導の工夫 ・書きのが伝わるなさ を育りが伝わるという。 ・書きかを確かな読みの観点をいり、批判的な読みの観点をのでのではない。 ・大切でのはないでのでででででででででででででででいる。 ・グループではいるととででででは、ませる。	<del>-</del> 章か め
	だから、〇〇と直したらいいと思う。 ・順序はいいけれど、内容がわかりにくいと ころがあるから、納得できない。 〇考えを共有する。	☆友達の話を聞いて「なるほど」 と思うところを取り入れさせる。 ・よくない場合には、どのよう に直せばいいのかの修正案も 考えさせる。	



## 8 本時の展開(本時 2/5)

- (1) 本時の目標
  - ・書き手の意図を捉え、関係性の視点で批判的に読み、自分の考えをもつことができる。
- (2) 準備物

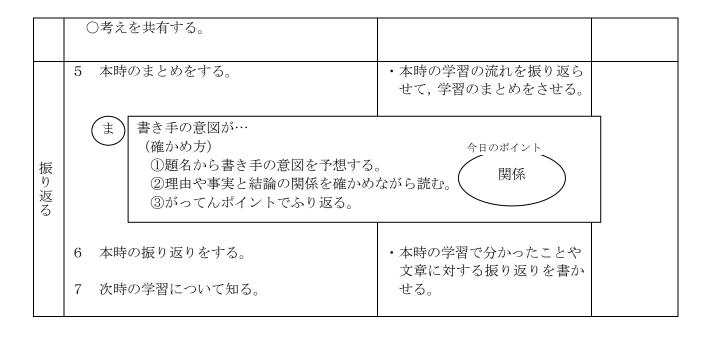
ワークシート・教材文

	学習活動	指導上の留意点(・)	評価規準
	于自旧勤	個に応じた支援(☆)	(方法)
②目的をも 昨日はそ 内容を確	権認する。 意図を捉える。	5	
2 本時のめあ <sup>3</sup> ○教材文の題 <sup>3</sup>	てを確認する。 から書き手の意図を推測する。 アリが退治できるということ。 ってほしい。	・見出し等には、書き手の意図 が表れているという既習の内 容を想起させる。	
(x)	書き手の意図が伝わる広告	テになっているだろうか。 	
・どうやって ○教材文を読 ○書き手のエ ・短い言葉で	<b>夫を見付ける。</b>	<u>指導の工夫</u> ・どのようなことに注目し ら読めばよいのか見通し たせる。	
①必要性·· ②適切性·· ③整合性··	「。 (がってんポイント) ·○○はいるのか。 ·○○はふさわしいか。 ·○○と▲▲はずれてないか。 ·この説明で納得できるか。	<u>確かな読みの力を育て</u> <u>指導の工夫</u> ・書き手の意図が伝わる文 どうかを確かめさせるた に、批判的な読みの観点 す。	ー 章か め
○必要な観点 ・理由と結論 る必要があ ・全体を通し る必要があ ○批判的に読	があっているかどうかを確かる る。(③整合性) て納得できるかどうかも確かる る。(④納得性)	す。 ・今回は内容や理由と結論の関係が大切であることを確認し、どの観点が使えるかを考えさせる。	
考える。 <ul><li>・この理由とう</li></ul>	吉論はあっていると思う。	・グループでの活動にする。グ ループでイメージをふくらま よかがく 新たせることで、知	書き手の意

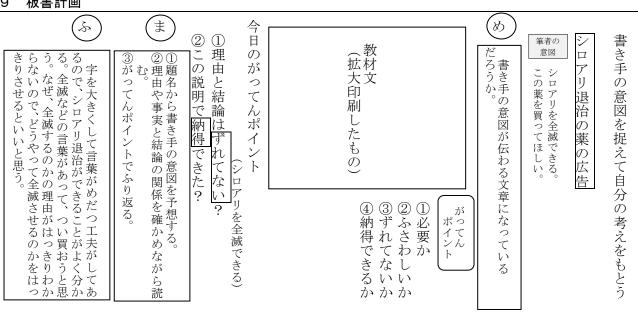
- 理由は…
- ・この内容でいいと思う。理由は…
- ・この内容はよくないと思う。理由は… だから, 〇〇と直したらいいと思う。
- ・見出しを大きくするなどの工夫はいいけど, 説明の理由がはっきりしないから, この広 告は納得できない。
- せながら話をすることで、観 図を捉えて 点にそって自分の考えをもた│批判的に読 せる。

☆友達の話を聞いて「なるほど」 と思うところを取り入れさせ る。

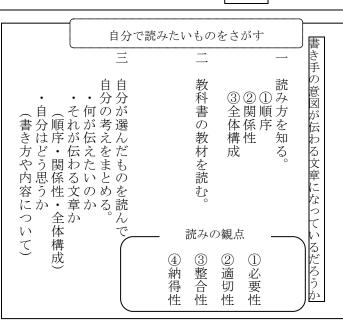
み, 自分の 考えをもっ ている。(発 言・ワーク シート)











学習

の流

れ

書き手の意図を捉えて、

自

分の考えをもとう